

日本中央アジア学会2014年度年次大会 公開パネルセッション

変容する境域と  
モビリティ  
—中央アジア乾燥地の人・モノ・社会—

「境界」とは、本来的にその時々の政治・経済・社会状況に応じて変容するものだが、翻って境界そのもののあり方が境域の社会を変質させ、境界を跨ぐ人やモノの動きを変えられることもある。今回のパネルセッションでは、このような動態的な境界のあり方に着目し、中央アジア(主にカザフスタンと中国)の境域での人間活動や人とモノの動きの変化の様態について考える。

\*本パネルセッションは、JCAS次世代ワークショップ「ユーラシアにおける境域と環境・社会—学際的対話による包括的な「境界」知識の獲得」(2015年2月7日実施)のフォローアップ企画でもある。

REPORT

- 《アラル海災害からの「復興」と小アラル海漁業》  
地田 徹朗(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)
- 《国境域における地域変容—イリ盆地を例に—》  
中村 知子(茨城キリスト教大学)
- 《新疆ウイグル自治区における施設栽培による農産物輸出の現状》  
古澤 文(千葉大学)
- 《青果物流通の変化にともなうカザフスタン地域農業の変容》  
渡邊 三津子(奈良女子大学)

司会：宇山 智彦(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)  
討論者：窪田 順平(総合地球環境学研究所)

共：NIHUプログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点／地域研究コンソーシアム(JCAS)／  
催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター境界研究ユニット(UBRJ)



DATE/PLACE

2015年3月29日(日)

9:00~12:30

KKR 江ノ島ニュー向洋・大会議室

〒251-0035 藤沢市片瀬海岸 1-7-23

「湘南江の島駅」・「江ノ島駅」から徒歩5分／「片瀬江ノ島駅」から徒歩10分

ACCESS MAP



公開パネルセッション  
参加者募集中!

参加費：無料 申込方法：3月22日(日)までにメールにて ①ご氏名 ②ご所属をお知らせ下さい。  
連絡先：日本中央アジア学会年次大会事務局(メールアドレス：jacas\_workshop@yahoo.co.jp)  
※学会会員以外の方もご参加いただけます。(3月28日の日本中央アジア学会2014年度年次大会は会員のみ参加・非公開となります)